

## “物理探査”投稿細則 付録D 文献の記載例

## 1. 本文中の引用

2. 参考文献リスト [雑誌/単行本/講演論文集など](#)/[報告書類・図幅類](#)/[学位論文など](#)

## 1.本文中の引用

様式 著者姓(発行年) または (著者姓, 発行年)

- ・橋本 (1956) は放射性鉍物探査の諸問題について述べた。
- ・放射性鉍物探査の諸問題 (橋本, 1956) のうち  $\gamma$ 線センサについて…
- ・放射性鉍物探査の研究 (橋本, 1956; 金子, 1957a, 1957b; White et al., 1988)によると…

例

- ・池谷・西川 (1988)
- ・小谷ほか (1988)
- ・Nelson (1988)
- ・Pitt et al., (1988)
- ・(Davis and Jackson, 1988)

後藤追記:

スライド中でも左記1と同様に引用すること(ホームページの引用は別のPDFファイルを参照)  
なお、ゼミでの論文紹介などの場合は、表紙のスライドには次章2(参考文献リスト)と同じ書式で紹介すること。スライド2枚目以降は左記1の様が良い。

後藤追記:

- ・著者が1名ならば橋本(1956)、著者が2名の場合は池谷・西川(1988)あるいはDavis and Jackson(1988)
- ・著者が3名以上の場合は小谷ほか(1988)あるいはPitt et al. (1988) et al.の意味は"ほか" またはカッコやセミコロン、カンマの使い方に注意。
- ・Pitt et al.(1988)によれば カンマは不要
- ・ だと言われている(Pitt et al., 1988) 出版年ではなく、著者名も含んでカッコを付ける またカンマをal.の後に付ける。
- ・ だと指摘されている(Pitt et al., 1988; Nelson, 1988) 複数論文の一斉引用は、論文を「;」でつなぐ

## 2.参考文献リスト

雑誌

様式 著者名(発行年): 題名, 誌名, 巻番号, 開始ページ-終了ページ.

[欧文雑誌の誌名は**イタリック体**で省略形, 巻番号は**ボールド体**]

Cohen, J. (1988): Asymptotic elastic Green's tensor, *Geophysics*, **53**, 992-994.

Davis, T. L., and Jackson, G. M. (1988): Seismic startigraphy study of algal mound reservoirs, *Geophysics*, **53**, 875-881.

例

茂木 透・本郷克巳・佐々宏一 (1986a): 細粒土の電気的特性, *物理探査*, **39**, 95-105.

—————・三好福次郎・木下和彦・城森 明 (1986b): 常磐台地におけるELF-MT法による地質構造調査, *物理探査*, **39**, 139-146.

Pitt, P. L., Smith, R. D., Sheffler, G. C., and Warren, R. D. (1988): A plasma jet acoustic source for probing the ocean floor, *Geophys. Prosp.*, **36**, 523-536.

単行本

著者名(発行年): 題名, 出版社名, 所在地, {開始ページ-終了ページ}.

または

様式 著者名(発行年): 論文題名, *in*編者名および"編"または"ed(s).",

単行本題名, 出版社名, 所在地, 開始ページ-終了ページ.

[欧文単行本題名は**イタリック体**]

例

物理探査技術協会 (1979): 物理探査用語辞典.

Kaufman, A. A., and Keller, G. V. (1983): *Frequency and transient sounding*, Elsevier Science Publ. Co., Inc., Amsterdam, 315-410.

高安秀樹 (1986): フラクタル, 朝倉書店, 東京.

友田好文・藤木博己 (1986): 海山・海溝とリソスフェ

アの厚さ, 平 朝彦・中村一明編, 日本列島の形成, 岩波書店, 48-55.

Zonge, K. L., Ostrander, A. G., and Emer, D. F. (1986): Controlled-source audiofrequency magnetotelluric measurements, *in* Vozoff, K. ed., *Magneto-telluric method, Geophysics Reprint Series no. 5*, Soc. Expl. Geophys., Tulsa, 749-763.

#### 講演論文集など

様式 著者名(発行年): 題名, 講演会名および論文集名, 開始ページ-終了ページ.  
[欧文講演会名および論文集名はイタリック体]

例 Delvaux, J., Nicoletis, L., and Noual, G. (1987): Acquisition techniques in cross-hole seismic surveys, *57th Ann. Internat. Mtg., Soc. Expl. Geophys., Expanded Abstracts*, 395-398.

例 片山浩二・横矢直道 (1988): 対話型屈折法地震探査解析プログラムの開発について, 物理探査学会第78回(昭和63年度春季)学術講演会講演論文集, 101-106.

#### 報告書類・図幅類

様式 単行本の様式に準ずる。

例 藤田和夫・笠間太郎 (1982): 大阪西北部地域の地質, 地域地質研究報告(5万分の1図幅), 地質調査所.

例 海上保安庁水路部 (1974): 西津軽海盆, 海底地形図(20万分の1), no. 6327.

例 通商産業省 (1987): 大規模深部地熱発電所環境保全実証調査総合評価報告書.

例 芳野赴夫・富沢一郎 (1988): 1986年11月の三原山噴火の前駆現象としての低周波放射現象の観測結果, 行武 毅編, Conductivity Anomaly研究会論文集, CA研究グループ, 58-73.

#### 学位論文など

様式 著者名(発行年): 題名, 博士・修士論文等の区別, 大学機関名等  
[欧文題名はイタリック体]

例 星野聖子 (1988): 電磁波スペクトルによる火星の金属鉱物資源量予測に関する研究, 博士論文, 東京工業大学理学部.

例 Schultz, P. S. (1976): *Velocity estimation by wave front synthesis*, Ph. D. thesis, Stanford University

#### 1. 本文中の引用

#### 2. 参考文献リスト [雑誌](#)/[単行本](#)/[講演論文集など](#)/[報告書類・図幅類](#)/[学位論文など](#)

1998/03/09 by T.S.  
2004/12/19 modified by T.G.